

執筆者紹介

明石 欽司 法学部助教授

長田 祐卓 元駿河台大学教授

石川 晃司 岐阜聖徳学園  
大学 教授

杉田 貴洋 帝京大学法学部  
専任講師

川嶋 隆憲 大学院法学研究科  
後期博士課程

第七十七卷 第七号 目次

論 説  
鑄銭司考

利光三津夫

吉本隆明の初期思想(一)

石川 晃司

韓国における更生保護事業の特色と  
刑事政策的意義(二・完)

太田 達也

判例研究

〔商法〕 四四四

商法研究会

学校法人が法科大学院新校舎建設工  
事のためキャンパス内に既存する建  
物等を解体・移築することにつき  
建築物の製作に与した米国人芸術  
家から著作物に関する一切の権利を  
承継したとする米国財団等からな  
された解体・移築工事差止の仮処分  
申立てが却下された事例

中谷瑾子先生追悼記事

## ジャン＝ジャック・ルソーによる

# 「国際法」理論構築の試みとその挫折（一）

——啓蒙期国際法理論研究の手掛かりとして——

明石 欽司

序論 問題の所在…国家理論の国際関係・国際法への適用における問題点

第一章 国際法理論史研究におけるルソーの位置付け…「負の国際法意識」

第二章 ルソーの国家構成理論と国家間関係

(一) ルソーの「国家」構成理論の特色

(a) 国家の設立目的とその構成員

(b) ルソーの「主権」観念の特質

(二) 国家の規模を巡る問題と国際分業・相互依存の否定かも

たらず矛盾

(a) 国家の規模

(b) 経済体制・政策…国際分業・相互依存の否定

……………(以上本号)

第三章 ルソーの理論における「国際法」

(一) ルソーの「法」概念…「国際法」の排除

(二) 国家間関係の発生と「自然状態」

(三) 国家間関係における「自然法」

(a) 「自然法」の存否を巡る問題

(b) 国家間関係における自然法の存在可能性

(四) 「実定国際法」への直接的言及…国際法の存在は否定されるのか

……………(以上七七卷九号)

第四章 ルソーの理論における「欧州国際法」

(一) 「欧州」の特殊性

(二) 欧州諸国間のシステム…「勢力均衡」と「国家連合」

(a) *De lege lata*としての「勢力均衡」

(b) *De lege ferenda*としての「国家連合」

第五章 ルソーの「戦争」及び「戦争法」観念…「国際法」と